

あなたと町政を結ぶ

議会だより



みのぶ

2010
GIKAI DAYORI
MINOBU
No.23



いよいよ俺等^{おれら}の夏だな（西嶋小学校プール開き）

（撮影：加藤武弘さん）

6月定例議会

- 町民と議員との懇談会 P2~3
- 6月定例議会で決まったこと P4~7
- 町長行政報告 P8
- 一般質問に4議員 P9~12
- 臨時議会 P13
- 正副議長研修 P14
- モニター・フォトリーダーを委嘱 P15
- 【学校紹介】 静川小学校（新シリーズ） P16

「町民と議員との懇談会」

○懇談会の目的

この懇談会は、議会運営状況や課題の取り組み状況等について説明責任を果たすと共に、町民からの意見や要望等を聴き、町民と意思の疎通を図るため、議会が主体となって住民との連携を図ることを目的に年2回、昨年からは実施されています。

Q1.

国・県の道路整備が各地区で進められているが、下部地区の整備は遅れている。今後の計画は。

A1.

行政に要望します。

Q2.

町営バスの廃止で住民の交通手段が閉ざされる。今後の対策は。

A2.

デマンド交通等を活用していただきたい。

Q3.

議員との懇談会の推進を図り住民との意思の疎通を。

A3.

今後も懇談会を実施します。

Q4.

議員との懇談会の参加者が少ない。周知の方法を考えるべきではないか。

A4.

検討します。

Q5.

町の人口減が著しい。くいとめる施策の推進を。

A5.

行政と連携しながら施策を講じたい。

Q6.

飯富病院に入院時のアメニティグッズとは。

A6.

入院の際、使用するものを業者に委託する制度です。

Q7.

アメニティグッズの購入は強制なのか。

A7.

強制ではない。

Q8.

町立である病院に安心して入院できるシステムにできないか。

A8.

病院議会で検討します。

Q9.

飯富病院の職員数は多すぎるのではないか。

A9.

病院議会で質問します。

Q10.

安易な学校統合の推進より、地域全体の問題として議論を重ねるべきでは。

A10.

行政と連携しながら議論をしたい。

Q11.

地デジ対策と地域情報システムの構築は全町を対象にできないのか。

A11.

現在は下部地区のみを対象としています。

多くの貴重なご意見を頂きましたのでご紹介いたします。
ご意見、ありがとうございました。



下部 地区

膝を交えて「意見交換」

- ・と き 平成22年6月12日（土）
午後7時30分から9時30分
- ・会 場 下部開発センター1F会議室
- ・参 加 者 21名
- ・出席議員 13名（内下部地区議員6名）
- ・内 容 町民との意見交換
※平成22年3・6月の議会内容を報告し、意見交換を行いました。
議員が答えられる件については回答しました。

※アンケート結果

参加者の方々のアンケート結果を報告いたします。

※50歳以下の参加者がなく、女性の参加も少ない。

※今回の開催を85%の方に評価していただきました。
内容や説明時間についても概ね良しとの回答でした。

※議会への期待度が90%と高い数字を示しているが、役割や情報公開の現状に対しては厳しい評価があり、議会の今後の在り方を痛感させられました。



◇所 感

地方分権が推進されている今日、議会の役割はますます重要になっています。

このような状況の中で、本町議会は議会改革として「開かれた議会」、「身近な議会」、「町民と協議する議会」を目指しています。

今年度も昨年に引き続き議員との懇談会を各地区で開催し、議員自らが地域に出向いて町民と意思の疎通を図り、町政に反映させる事を目的としています。

町政に対する提言などを町民から直接受けることで町政の諸課題に柔軟に対応し、議会の政策提言機能に資するものと考えられます。

今後も議員一同、力を合わせて取り組んでまいります。

子宮頸がん予防接種に450万円

主な質疑答弁

▼平成22年度一般会計
補正予算

野島議員 「道の駅しもべ」の高圧開閉器修繕費ですが、この機器の故障は、周囲の利用者に大きな被害を及ぼすものです。今回の修繕の内容と理由は。

笠井財政課長 この機器の重要性は十分理解しています。今回、関東電気保安協会の年次検査で指摘され交換するものです。

野島議員 大河内小のスクールバス購入について、聞きます。

近藤学校教育課長 平成5年に購入したもので、18年間19万km使用し、大変いたんでおり、新規購入するものです。国の補助も申請してあります。



やってみよう外国語（身延小学校）

芦澤議員 子宮頸がん予防ワクチン接種費用450万円は、小学6年生と中学3年生の女子が対象と聞いているが接種後の検診はどういう予定でしょうか。

赤坂福祉保健課長 接種後の検診は、20歳以上の希望者に行っている施設検診で対応します。

芦澤議員 現在の健診は、若い人に多い子宮頸がんの検診で、子宮体がんの多い高齢者には意味がないといわれている。接種後の検診には補助は出るのでしょうか。

福祉保健課長 女性特有のガン検診ということで、20、25、30、35、40歳の5歳間隔で実施しており、2分の1の補助を出しています。

芦澤議員 検診受け入れ機関はどの病院ですか。

福祉保健課長 検診受け入れ機関と接種機関は未定です。

渡辺議員 富士川町は高校生も対象にするか聞いていますが本町では検討していますか。

福祉保健課長 財政負担を考え、本町では検討しておりません。

日向議員 ワクチンの原価はいくらでしょうか。

福祉保健課長 接種費用は1回1万5000円と聞いていますがワクチンの原価は不明です。

日向議員 農家台帳の作成費80万円が計上されているが、必要性和利活用はどのように考えていますか。

串松産業課長 本町では農家台帳が整備されておらず、現在は固定資産台帳を利用しています。耕作放棄地の活用、食料自給率向上、



農地の有効活用のため農家台帳が作成されます

景観保全のために農家台帳の整備を行うものです。

日向議員 県からの補助金があるから農家台帳を作成するのか、農業委員会の問題提起に基づいて県の補助金を申請したのが、どちらですか。

産業課長 県から、農地の集積、高齢化、担い手不足を調査して、農地の利用を調整するよう指示があったので、農業委員会が所有者と借り手の間に入って調整する方向で進めていくものです。



館長報酬が一律になる公民館分館（豊岡分館）

日向議員 今年だけでなく、もっと長いスパンで考えるかどうか、別に予算を組む予定はないでしょうか。

産業課長 これは一筆調査になりますので、1年で終わると考えています。システムを確立して、来年以降、実態調査して、農地の有

効活用を考えていきます。

芦澤議員 身延小の「やってみよう外国語活動推進事業」は、国の方針変更で予算減額があったというが、一般財源でできないのか、全体でどのくらいの費用がかかるのか聞きます。

学校教育課長 この事

業は、二カ年の計画で昨年度取り組みを開始しました。目的は、外国語でのコミュニケーション、外国の言語・文化を体験的に学ぶというもので、昨年度は約120名参加の公開授業を実施しました。

今年度は、規模を縮小し、来年度の新指導要領の実施に伴い外国語導入にあわせて、町内の学校職員を対象に公開授業を行っていきます。今年度35万円が全体事業費でしたが、一般財源14万5千円で今年度も実施していきます。

草間議員 高齢者保養施設のCATV加入負担金と使用料について説明してください。

望月身延支所長 門野の湯のCATV加入負担金と使用料です。地デジになるということで、今回TVを3台購

入し、CATVに加入しました。

川口議員 事務機リース料165万円は、パソコン70台のリース料ということだが、1年分ですか。

財政課長 デスクトップ型パソコンのリース料で9月からの7カ月分です。

川口議員 リース期間は何年間ですか。

財政課長 リース期間は5年です。

川口議員 バス運行委託費300万円の内容について聞きます。

丸山政策室長 現在「町有バス」ですが、7月からは「町営バス」で有償となるものです。

川口議員 江尻窪と上栗倉の小規模水道事業補助金の補助率が異なる理由は。

千頭和水道課長 補助率は、給水世帯と人口によって異なります。

江尻窪は、6以上10世帯以下人口16以上40人以下で5分の3、上栗倉は5世帯以下、15人以下で10分の7の補助率です。

川口議員 折りたたみテント2張りの大きさは。

熊谷観光課長 一間半×二間の大きさです。

穂坂議員 労働諸費のうち、常葉保育所の委託料が72万円計上されている理由は。

稲葉子育て支援課長 これは、園児送迎業務に関するものです。労働諸費は、多様な能力開発の機会提供、就業

機会の創出目的経費であると考えるここに計上しました。

穂坂議員 商工振興費の郷土伝統工芸品振興費用37万円について聞きます。

観光課長 西嶋和紙の需要開拓のために行う絵手紙展開催ポスタ

1、案内等に使うもので、3年間を用途に補助金を出す予定です。

穂坂議員 公民館費391万円の減額は規模・利用数などにより館長報酬を変更したのか、または全館一律で決めたのか、どちらですか。

佐野生涯学習課長 監査委員、行革委員の指摘によって全館一律に定めたものです。

.....

◆子宮頸がん予防ワクチン接種とは

子宮頸がんとは、子宮の入り口付近「子宮頸部」にできるがんのことです。

このがんを予防するには、病気の原因となる細菌やウイルスなどを除去するワクチンを接種しておくことが、最適な予防方法です。

6月定例議会で決まったこと

報告

平成21年度一般会計
繰越明許費

3億536万円

※全員賛成で可決。

(7ページ参照)

平成21年度簡易水道
事業特別会計繰越明
許費

8398万円

※全員賛成で可決。

平成21年度下水道事
業特別会計繰越明許
費

9523万円

※全員賛成で可決。

条例の改正

職員の勤務時間、休
暇等に関する条例の
一部改正

家族介護等を行う労

働者の福祉に関する法
律等の一部改正に伴う
もの。

※全員賛成で可決。

職員の育児休暇等に
関する条例の一部改
正

地方公務員の育児休
業等の法律の一部改正
に伴うもの。

※全員賛成で可決。

職員給与と条例の一部
改正

「給与の直接払いの原
則」によるもの。

※全員賛成で可決。

補正予算

〔一般会計〕

平成22年度補正予算

補正額 773万円

補正後総額

90億1853万円

〔補正の財源〕

・使用料及び手数料

△2万円

・国庫支出金

1379万円

・県支出金

・繰入金

1344万円

・繰越金

・諸収入

・町債

△1890万円

〔補正の支出〕

・議会費

・総務費

・民生費

・給料等

・衛生費

・給料等の減額

・労働費

・園児送迎業務等

・農林水産業費

△157万円

給料等の減額

・商工費

・折りたたみ式テント等

・土木費

給料等の減額

・消防費

・補償補填等

・教育費

・スクールバス等

※全員賛成で可決。

〔特別会計〕

国民健康保険補正予

算

補正額

補正後総額

21億6839万円

〔補正の支出〕

・給料等

※全員賛成で可決。

後期高齢者医療補正

予算

補正額

補正後総額

4億8073万円

〔補正の支出〕

・給料等の減額

※全員賛成で可決。

給料等の減額

・商工費

・折りたたみ式テント等

・土木費

給料等の減額

・消防費

・補償補填等

・教育費

・スクールバス等

※全員賛成で可決。

〔特別会計〕

国民健康保険補正予

算

補正額

補正後総額

21億6839万円

〔補正の支出〕

・給料等

※全員賛成で可決。

後期高齢者医療補正

予算

補正額

補正後総額

4億8073万円

〔補正の支出〕

・給料等の減額

※全員賛成で可決。

給料等の減額

・商工費

・折りたたみ式テント等

・土木費

給料等の減額

・消防費

・補償補填等

・教育費

・スクールバス等

※全員賛成で可決。

〔特別会計〕

国民健康保険補正予

算

補正額

補正後総額

21億6839万円

〔補正の支出〕

・給料等

※全員賛成で可決。

後期高齢者医療補正

予算

補正額

補正後総額

4億8073万円

〔補正の支出〕

・給料等の減額

※全員賛成で可決。

給料等の減額

・商工費

・折りたたみ式テント等

・土木費

給料等の減額

・消防費

・補償補填等

・教育費

・スクールバス等

※全員賛成で可決。

〔特別会計〕

国民健康保険補正予

算

補正額

補正後総額

21億6839万円

〔補正の支出〕

・給料等

※全員賛成で可決。

後期高齢者医療補正

予算

補正額

補正後総額

4億8073万円

〔補正の支出〕

・給料等の減額

※全員賛成で可決。

給料等の減額

・商工費

・折りたたみ式テント等

・土木費

給料等の減額

・消防費

・補償補填等

・教育費

・スクールバス等

※全員賛成で可決。

〔特別会計〕

国民健康保険補正予

算

補正額

補正後総額

21億6839万円

〔補正の支出〕

・給料等

※全員賛成で可決。

後期高齢者医療補正

予算

補正額

補正後総額

4億8073万円

〔補正の支出〕

・給料等の減額

※全員賛成で可決。

給料等の減額

・商工費

・折りたたみ式テント等

・土木費

給料等の減額

・消防費

・補償補填等

・教育費

・スクールバス等

※全員賛成で可決。

〔特別会計〕

国民健康保険補正予

算

補正額

補正後総額

21億6839万円

〔補正の支出〕

・給料等

※全員賛成で可決。

後期高齢者医療補正

予算

補正額

補正後総額

4億8073万円

〔補正の支出〕

・給料等の減額

※全員賛成で可決。

給料等の減額

・商工費

・折りたたみ式テント等

・土木費

給料等の減額

・消防費

・補償補填等

・教育費

・スクールバス等

※全員賛成で可決。

〔特別会計〕

国民健康保険補正予

算

補正額

補正後総額

21億6839万円

〔補正の支出〕

・給料等

※全員賛成で可決。

後期高齢者医療補正

予算

補正額

補正後総額

4億8073万円

〔補正の支出〕

・給料等の減額

※全員賛成で可決。

給料等の減額

・商工費

・折りたたみ式テント等

・土木費

給料等の減額

・消防費

・補償補填等

・教育費

・スクールバス等

※全員賛成で可決。

〔特別会計〕

国民健康保険補正予

算

補正額

補正後総額

21億6839万円

〔補正の支出〕

・給料等

※全員賛成で可決。

後期高齢者医療補正

予算

補正額

補正後総額

4億8073万円

〔補正の支出〕

・給料等の減額

※全員賛成で可決。

給料等の減額

・商工費

・折りたたみ式テント等

・土木費

給料等の減額

・消防費

・補償補填等

・教育費

・スクールバス等

※全員賛成で可決。

〔特別会計〕

国民健康保険補正予

算

補正額

補正後総額

21億6839万円

〔補正の支出〕

・給料等

※全員賛成で可決。

後期高齢者医療補正

予算

補正額

補正後総額

4億8073万円

〔補正の支出〕

・給料等の

22年度に繰越された事業

総額＝3億536万円

・簡易水道運営費	1,137万円
・農業用施設整備事業	1,900万円
・農村地域活性化農道整備事業	46万円
・中山間地域総合農地防災事業	110万円
・里山エリア再生事業	250万円
・環境公益林整備支援事業	380万円
・小規模治山事業	2,000万円
・生活林道改良事業	1,000万円
・清沢大炊平線道路改良舗装工事	1,500万円
・本町富山橋線道路改良事業	2,488万円
・生活道路維持工事	3,500万円
・生活道路改良工事	950万円
・下水道事業費	1,324万円
・防火水槽修繕事業	400万円
・既存貯水槽撤去及び耐震性貯水槽設置事業	1,853万円
・全国瞬時警報システム構築工事	886万円
・身延小学校屋内運動場改修事業	4,765万円
・中富地区公民館原分館屋根防止改修事業	310万円
・湯之奥金山博物館収蔵庫改修事業	707万円
・下部リバーサイドパーク足湯設置事業	3,000万円
・勤労青年センター体育館改修事業	2,030万円



改修される勤労青年センター体育館

農業集落排水事業等

補正予算

補正額 115万円

補正後総額

3802万円

〔補正の支出〕

修繕費等

※全員賛成で可決。

下水道事業補正予算

補正額 △651万円

補正後総額

9億4584万円

〔補正の支出〕

給料等の減額

※全員賛成で可決

下部奥の湯温泉事業

補正予算

補正額 74万円

補正後総額 732万円

〔補正の支出〕

湯湯ポンプ修繕

※全員賛成で可決。

※給料等の補正は4月1日の人事異動に伴う

もので給料、職員手当等、共済費を含むものです。

人事

人権擁護委員候補者の推薦

赤池 善光氏（瀬戸）

※全員賛成で同意

◆人権擁護委員とは

法務大臣から委嘱を受け、国民の基本的人権の侵犯を監視し、もし侵犯されたことが判明した場合には、その救済に適切な処置をとるために設けられています。

町長の行政報告（要旨）



清子集落の水道町営化

清子集落を身延町相又簡易水道の給水地区に取り入れる認可を国よりいただきましたので、本年度より着手し、平成25年4月一部給水開始を目標に推進を図ります。

中部横断自動車道

町内でも、醍醐山トンネルの本格掘進が開始する中、国土交通大臣から2017年開通の明言をいただいたところであります。

子ども手当

中学校修了まで月額13000円支給する

ものです。

年3回、6、10、2月に、前月分までを支給します。

対象数は、5月末現在732人です。

子宮頸がん予防ワクチン接種助成事業

子宮頸がんの発生状況は、全国で年間15000人以上が発症し、約3500人が死亡しています。

予防ワクチンを10代前半に接種すれば7割以上が予防できるとされています。

女性が接種を受けやすい環境を整備するため、一人当たり45000円を上限に助成するものです。

建設業と地域の元氣回復事業「富士川ラフティング」

商工会・建設業が中心となり、「日本三大急流（富士川）におけるリバーツーリズム企業化事業」に応募し、国交省の事業に選定され2000万円の交付を受け実施するものです。

富士川の流水を活用した体験型の観光産業

として、観光客の増加が見込め、地域の活性化に資するものと考えられます。

山梨県水防訓練

5月30日に山梨県と身延町の共催で災害発生時の応急復旧や救助活動等の訓練を行いました。

町民の皆さんが進んで水防活動や避難活動



水道が町営化される清子集落

に協力していただければ幸いです。

平成21年度決算処理

全会計において黒字決算となり、平成21年度における会計事務が良好に完結しました。

公共下水道事業の各戸への接続

3月31日現在の接続率は帯金・塩之沢処理区85・2%、角打・丸滝処理区89・2%、中富処理区63・8%、身延処理区は13戸の接続であります。

まだまだ満足できる数値ではありませんので早期接続をお願いいたします。

合併して6年になります。旧町の垣根を取り払い、一つの町になるべく、なお一層の努力をしてまいります。

6月定例会 審議日程

6月8日（火）

◇開会 本会議

・会議録署名議員の指名

・会期の決定

・諸般の報告

・町長行政報告

・提出議案の報告並びに上程

・提出議案の説明

6月10日（木）

・提出議案に対する質疑、討論、採決

・一般質問（2人）

6月11日（金）

・一般質問（2人）

・委員会の閉会中の継続調査

・追加提出議案の報告並びに上程

・追加提出議案の説明

・追加提出議案に対する質疑・討論・採決

・町長あいさつ

◇閉会



6月定例議会

ここが聞きたい！

一般質問

6月定例議会では4議員が質問に立ちました。
以下はその要約です。

質問

学校統廃合について

町長の考えは

答弁

所管が違うので

私には権限はない



渡辺文子議員

問 静川小保護者からの要望書への回答は。

教育委員長 旧町に小

学校が一校残ることを

最重要課題として再検

討することについて

は、前期計画を進めて

いる段階で困難であ

り、後期計画作成の検

討課題にさせて欲し

い。二点目の最終計画

を明確にすることは、

後期計画が現時点では

白紙なので示すことは

不可能であることを説

明した。

問 この条件で、学校

統廃合計画に賛成する
と言う要望書なので、
この計画はこれ以上進
められないと理解して
いいのか。

教育委員長 これから
も協議を重ね、静川小
と西嶋小の統合ができ
るよう努力したい。

問 以前、学校統廃合
計画の見直し、再検討
を求める署名が81・4
パーセントの賛同を得
て出された。その思い
をどう受け止めるか。

教育委員長 児童数の
実態を見ても、統合が
適切だと思う。

問 統廃合は教育委員
会が押しつけるもので
はない。全部の計画が
定まらない段階で、小

さい学校を潰すやり方
ではなく、その学校、
地域の問題として、検
討すべきだと思うが町
長の考えは。

町長 学校の統廃合
は、教育委員会の所管
で私には権限がない。

問 3月の議会で一中
二小を目指すのは基本
的な考えで一中小も
視野に入れているよう
な答弁だったが。

教育委員長 旧町に一
小学校を望む声がある

が、教育委員会は前期
計画の推進を最優先し
ているので一中二小を
変えるべきでないと思
える。

問 本町は今、過疎化
対策、少子化対策、若
者定住など課題が山積
している。この状況の
中で、一中二小にして
しまうことは、これら
の施策との整合性がな
いと思うが。

町長 子どもや若者が
増えるのを願っていない



地域医療の拠点を目指して工事が進む飯富病院

いわけではない。今の
教育環境が本当にこれ
でいいのかと言ってい
る。審議会で決めても
らったことなので尊重
すべきと考える。

質問 安心して医療を
受けるために

問 飯富病院は、開設
以来これまで無医地区
への出張診療や在宅医
療が評価されマスコミ
にも取り上げられてい
る。しかし、入院患者
に対して行っているア
メニティーサービスに
ついては、負担が重い、
納得がいけないなどた
くさんの苦情が寄せら
れている。安心して医
療を受けるために改善
する必要があるが、町
はそういう現状を把握
しているのか。
福祉保健課長 このこ
とについての苦情は聞
いていない。

町の活性化への

取組について

答 弁
財政的に厳しく子や孫に
借金を残したくない



川口福三議員

問 町長は、「住んでよし訪ねてもよしおらが身延（まち）」と言っているが、重点施策は何か。

町長 大変厳しい状況であり、できる限りお金は使わなくて、町民の皆さんに元気が出る施策を考えたい。

問 身延町総合計画の中に、「夢の世を夢で暮らすな 夢さめて今まぐ種は後の世のため」と書かれている。今は亡き、柳沢元鯨沢町長が、大法師に桜の

集落対策について町の考えは。

政策室長 町では空き家対策の事業を行っており、空き家の情報提供により、宮木地区の空き家に3世帯の申込みがあった。抽選で北海道の方が入居する。今後も空き家対策を進め、定住促進を図っていききたい。

質問 町の観光施策について

大型バスが何台も来てトイレ休憩する所がない。広場とトイレは観光の絶対条件だ。身延山の門前町は、大型バスが素通りだ。身延山と門前町と行政で、大型バス乗入れ規制等により門前町の活性化策を講ずる考えは。

観光課長 門内地区には門内活性化委員会があり、駐車場の確保等について現在検討している。

質問 小中学校統合問題について

問 小中学校統合問題は10年間の計画を前倒しして、一中学校統合を先に進め、その後に空いた中学校校舎を活用し、小学校統合を進めるべきである。今後の詳細な計画についての考えは。

教育長 前期計画に基き進めている。西嶋

小、静川小の方向性を明確にした時点で次の検討を始める。

問 廃校舎の活用は、行政全般の問題として校舎の利用計画を立てているか。

教育長 廃校舎の取り扱いについては、老朽化や施設の規模、立地条件等があり、総合的に検討する必要がある。地域の方々の意見等も伺い、方向性を出す。旧豊岡小学校については、現在検討中である。



利活用が検討される旧豊岡小学校

地球温暖化対策として環境負荷の少ない車を選定した。

問 消防車の購入については誰がどのような判断を下すのか。

総務課長 総務課の交通防災担当で原案を作成し、使用地域・消防小屋のスペース・集落内の道路状況等々において、最終的な判断は町長が行う。

質問 公用車・消防車購入について

問 公用車は何を基準に購入しているのか。自家用車と違い、グレイドの高い車を購入する必要があると思うが。

財政課長 老朽化及び

質問

集中改革プラン（第四次改定版）の総括・展望を示せ

弁答

意識改革における「経費削減」に効果が挙がっている



野島俊博議員

問 集中改革プラン、

職員の「意識改革・行財政の健全化・町民自治の充実」に基づく取り組みの総括を。

町長 「小さくて効率的な役場経営」を目指している。職員の意識改革に伴う行政経費削減、事務事業の見直しによる経費削減の効果

が挙がっている。職員も37名減で、人件費の削減額は累計で3億5800万円となり、副町長を置かないことで年間約1300

万円の戦略を講じ、町の物差しで推進し、不満をなくしていくことも考慮して頂きたい。

問 人件費についての考え方を示せ

万円もの節減となっている。今後新たな行財政改革実施計画において、積極的に取り組む予定である。

問 展望については。

町長 職員の意識改革から、行動改革の推進へと一歩踏み出し、これを民間企業の効率化を目指す改善手法も導入し、取り組みを3年と短縮した。

現在、改革プラン総括と並行しながら、庁内で検討し、行政改革推進委員会の協議を経て9月に公表する考えである。

要望 「町民満足」職員

満足」と捉え、集中改革プランに住民サービ

スの戦略を講じ、町の物差しで推進し、不満をなくしていくことも考慮して頂きたい。

問 将来へ向けての定数管理を示せ

問 企業ではお客様の物差しで「顧客満足」従業員満足」と捉えている。会社の戦略を実行する中で、利益を得、社会・会社への貢献を果たすことが重要と考えている。

仕事は顧客のために働き給料はお客様から頂いていることになる。つまり、「民間では、一分一秒」が人件費と考える。町長の考えは。

町長 人件費の財源も町民から頂いている。このことを職員一人ひとりが再認識し、仕事をする目的は何かをし

っかり感じてほしいことは言うまでもない。職員には常に言ってお

り、徐々にではあるが浸透してきたと思っている。

問 協働の町づくり官民の役割分担を示せ

問 27歳以下の職員が10名と極端に少なく、先を見据えた時、業務遂行に支障を来すことが考えられる。今後、定数管理をどのように進めていくのか。

町長 まさに先々の行政運営には不安が残る。合併時269名であった職員が、現在は、222名となっている。若年層が非常に少なく不安である。今後は、長期的なことも視野に入れて、第二次として平成27年4月1日を

計画を策定する予定である。

問 民間の経営理念やノウハウを町づくりに活かし、行政と町民の役割を明確にする必要があると思うが、町長の考えは。

町長 「公共サービスの担い手は、行政だけではない」という視点に立ち、町民の皆さんやNPOなど、町民活動団体、民間企業にも公

共の福祉充実のために必要な役割分担をお願いし、町民と町との協働による町づくりを進めていきたい。

行政推進システム改革は、民間企業のノウハウを町づくりに活かすことも重要で



協働の町づくり（健康福祉まつり）

あり、今後、施設運営について経営意識と手法を導入し改めて町民ニーズの的確な把握と施設の有効活用を検討していきたい。これらの具体的な取り組みとして、「ふるさと定期便」、「本栖湖キャンプ場交流事業」などが挙げられる。これらも含め、各施設の設置の目的、経営状況等を十分精査する上で、なお検討をしていきたい。

生活排水事業の現状と 今後の対応は

答 弁

接続率の低さは、後継ぎがない、改築予定がある、資金がないなどが原因



日向英明議員

問 昨年度末の下水道接続率は帯金・塩之沢

85・2％、角打・丸滝

89・2％、農業集落排水

(北川)・小規模集

合排水(上之平) 10

0％であるが、中富は、

63・8％である。対策

はあるのか。

環境下水道課長

中富

でアンケート調査を实

施した結果、「跡継ぎ

がない」「家の改築

予定がある」「資金が

ない」などであった。

問 中富では、80億円



接続率89%の角打・丸滝下水道

14年に供用を開始している。下部では、平成14年に常葉処理区、久那土処理区で事前アンケート調査を行っていた。中富では、事前調査をしたのか。

環境下水道課長

中富

は平成7年度に事業に

着手しているが事前調

査は実施していない。

問 この事業は、多額

の費用がかかる長期的

なものであり、精査し

て加入100％で実施

すべきであった。未加

入世帯への個別の加入

依頼はしているのか。

環境下水道課長

訪問

はしないが、電話での

加入促進をおこなって

いる。

問 合併浄化槽・単独

浄化槽については資格

者の定期的点検整備が

義務付けられている

が、町はどこまで把握

し、指導しているか、

浄化槽以外の家庭はど

うなっているか。

環境下水道課長

特に

把握していない。浄化

槽以外は汲み取りトイ

レである。

問 三町合併時に合併

協議会で出した常葉・

久那土・下山処理区の

下水道事業概算額は、

環境下水道課長

常葉

17億、久那土約14億、

下山約30億、計約62億

円である。

問 現在、公共下水道

にかかわる利息合計は

年1億4000万円であ

る。このような状況

で、新たな事業を進め

る予定しているのか。

町長

当初予算で、生

活排水事業見直しの業

務委託を計上してあ

り、より効率的な事業

計画を推進する予定で

ある。

質問 人事評価制度 は？

問 平成17年11月に人

事評価制度研究会がお

かれたが、昨年度まで

の経過はどうか。

総務課長

17年11月に

研究会を開催し、翌年

度から試行、20年度に

人事育成基本方針が策

定された。

自己申告、自己目標設

定、自己評価の結果を

所属長に提示し、個別

面談を行った。20年度

までは年3回行ってい

たが、時間調整が困難

で21年度から年2回と

した。

問 人事評価の最高責

任者である町長の考えは。

町長

職員には給料以

上の仕事をするよう言

ってきた。町民満足を

目指し日々研鑽を積ん

でシステム向上に努め

るよう指導していく。

問 前町長は、ローテ

ーションを進めると言

っていたが、人事異動

についての考えは。

町長

を基準にしている。

問 人事異動について

本人の希望も斟酌す

るのか。

総務課長

自己申告を

出させて参考にしてい

る。

問 人事制度評価者に

対する研修状況は。

総務課長

リーダーシ

ップ研修は、外部講師

を招き年2回実施して

いる。

◆人事評価とは

任用、給与等人事管

理の基礎とするために

行う。職員がその職務

を遂行するに当たり発

揮した能力や業績を把

握した上で行う勤務成

績評価。期末勤勉手当

の参考としても用い

る。

第2回臨時議会

減債基金に1億5,000万円を積み立て

5月7日、午前9時から、平成22年第2回臨時議会が議場で開かれました。

この議会は、専決処分5件、工事請負契約1件が提案され、すべての議案が、全員賛成で承認・可決されました。

専決処分

〔補正の財源〕

・地方交付税

1億5670万円

■平成21年度一般会計

補正予算

〔補正の支出〕

・農業費

△137万円

補正額

1億5670万円

・林業費

137万円

補正後総額

101億6280万円

・道路橋梁費

670万円



工事が始まる身延小学校大規模改造工事

・基金費

1億5000万円

■税条例の一部が改正され、たばこ税の税率等が改正されました。

■農村地域工業等導入促進のための固定資産税の免除に関する条例の一部が改正され、「指定地区」が「指定地区内」に改正されました。

■過疎対策のための固定資産税の免除に関する条例の一部が改正され「ソフトウェア業」が「情報通信技術利用事業」に改正されました。

・請負金額

6969万円

・契約の相手方

近藤工業株式会社

・工期

5月10日～9月30日

■国民健康保険税条例の一部が改正され、国民健康保険の軽減が、市町村の判断により、減額割合を選択できる等に改正されました。

■身延小学校校舎大規模建築主体工事請負契約

■請負金額

6969万円

・契約の相手方

近藤工業株式会社

・工期

5月10日～9月30日

■専決処分とは

条例や予算などは議会が議決をしなければなりません。が、時間的に議会の開会を待てない場合もあります。そのようなときに町長が議会に代わって決定することを行います。

専決処分したことは、直近の議会で承認を得なければなりません。

■減債基金とは

町債（借金）の償還及び町債の適正な管理に必要な財源を確保し、将来にわたる財政の健全な運営に資するために積み立てるものです。

表彰

自治功労者

議員として11年以上

在職し、その業績が認められ、本町の望月広

喜議員、伊藤文雄議員、

川口福三議員の3名が

表彰されました。

今後の活躍が、大いに

期待されます。

■議会広報功労者



編集委員として5年

以上在職し、住民に信

頼される広報紙の発行

に務められ、その業績

が認められ、本町の福

与三郎議員（写真）が

表彰されました。

今後の活躍が、大いに

期待されます。

議会の活性化とまちづくりを学ぶ 議長・副議長研修会



副議長

伊藤 文雄

・日程

5月18日～19日

・研修先

メルパルクホール

(東京都)

・参加者

議長

副議長

【研修内容】

■講演

①「地域主権改革とまちづくり」

「中央集権」から「地域主権」に移行し、国から地方への補助金を廃止し、地方が自由に

使える一括交付金とし、現行の補助金、交付金等を改革する。

②「森林管理・自然環境保全とまちづくり」

森林の多いわが国では、森林と共存し、自然環境を保全していくことが、まちづくりの重要な課題である。

③「伝統文化を生かしたまちづくり」

先人が築いた伝統文化を大切に継承し、ボランティアの力を借り地域おこしを目指す。

■シンポジウム

「議会の活性化とまちづくり」

わが議会の活性化実践例

議会基本条例の制定、通年議会の実施、町民と議員との意見交換会等、議会の活性化に向けた実践例が紹介され、本町議会も取り組んでいる議会活性化策について参考になりました。



議会活性化を学ぶ議員研修会

議会日誌

3月

5日～16日 第1回定例会

例会

10日 各中学校卒業式

19日 各小学校卒業式

20日 豊岡小学校閉校記念式典

24日 例月出納検査

25日 議会活性化等特別委員会

7日 第2回臨時会

11日 監査委員定期総会・研修会

14日 議会広報モニター・フォトリーダー委嘱式

17日 議員研修会

18～19日 全国正副議長研修

26日 町村議員研修

28日 葉山町議会行政視察来町

31日 議会運営委員会

6月

2日 全員協議会

3日 議会広報研修会

8日～11日 第2回定例会

12日 町民と議員との懇談会（下部地区）

13日 御入山行列（写真）

4月

6日 各小学校入学式

7日 各中学校入学式

16日 監査委員第1回理事会

20日 例月出納検査

21日 身延山クリーン作戦

27日 全員協議会

28日 町村議会議長会議

議

5月

6日 議会運営委員会



御入山行列（門内）

議会広報の充実を目指して

モニター・フォトリーダーを委嘱

5月14日、議員控室で、モニター・フォトリーダーの委嘱状交付式が開かれました。

モニターは、議会広報に対する批判、意見、提言等を、フォトリーダーは、写真等を提供していただきます。



意見交換をするモニター・フォトリーダー

当日は、交付式の後、議会広報についての意見交換が行われ、本町の議会だよりは、文章が硬いなどの指摘がありました。

これらの意見を今後の議会だよりに反映させていきます。

なお、モニター・フォトリーダーは、次のとおりです。(敬称略)

■モニター

遠藤 晴男(波木井)
望月 信征(大城)
岩浅 二十美(角打)
遠藤 公久(身延)
土橋 朝美(飯富)
天野 恵美(切石)
赤池 正一(瀬戸)
二宮 美仁(上田原)
馬場 たき(常葉)

■フォトリーダー

深沢 徹(大野)
熊王 秀臣(身延)
小林 昭信(常葉)
依田 啓史(下部)
加藤 武弘(西嶋)
望月 幹雄(西嶋)

モニター通信

このコーナーは、議会だよりNo.22について、モニターさんから感想をいただいたものです。ご協力ありがとうございました。

◇表紙について

・子どもたちの真剣な表情が捉えられていて良いと思う。

◇町民と議員との懇談会

・町民が思っていることがわかってよい。

◇3月定例会で決まったこと

・質問、答弁とも簡潔で、わかりやすい。

◇町長施政方針

・わかりやすく、大変よかった。

◇一般質問

・質問する議員が同じように思われる。

◇町民ひろば

・毎回楽しみにしています。

組合議会

峡南衛生組合 臨時会

5月21日

◇平成22年度一般会計

補正予算

・補正額 305万円
・補正後総額 4億9337万円

【歳入】

・繰越金 305万円

広域行政組合 臨時会

6月4日

◇平成22年度一般会計

補正予算

・補正額 528万円
・補正後総額 15億6387万円

【歳出】

・ペレット乾燥機 305万円

【歳入】

・繰越金 528万円

【歳出】

・総務費 132万円
・民生費 23万円
・消防費 373万円

◇平成22年度介護保険 特別会計補正予算

・補正額 13万円
・補正後総額 2億6172万円

【歳入】

・繰越金 13万円

【歳出】

・民生費 13万円



全校読書の時間

ノーチャイム制と 全校活動

静川小学校

静川小学校は、明治5年に切石郷校として出発。その後、明治25年6月に切石尋常高等小学校、そして昭和16年4月に静川国民学校、さらに昭和22年4月に静川小学校となり



130年を超える歴史の中で今日に至っています。

平成22年度は、学校教育目標「夢や希望をふくらませ 未来を拓く生きる力を持った子どもの育成」を設定し、33名の児童と常勤・非常勤含め14名の教職員で出発しました。

本校の特色は、ノーチャイム制です。子どもたちは自分で一日の時間を管理し、休み時間から授業に移行する場合も職員が子どもたちに声をかけることなく、時間の管理が徹底されています。

次に、小規模校としての特色を生かした様々な取り組みを紹介します。

まず、授業前の朝の活動（おはようタイム）です。

月・火曜日は、図書室で、全校読書の時間



静川小学校

を持っていきます。先日

から、児童会図書委員や教職員による読み聞かせが始まりました。

木曜日は全校運動の時間、金曜日は音楽室での全校合唱練習の時間として一週間の活動を計画的に実施しています。

次に、緑豊かな自然環境を生かした体験活動です。

本校の前庭に立派な庭園があります。その庭園を活用してグリーンアドベンチャー大会

を例年行っています。

また、田植えやよもぎ団子づくり体験等、豊かな自然と地域の方々の力をお借りして様々な体験活動を推進しています。

さらに、学校と家庭・地域を結ぶ行事として「静小秋まつり」があります。今年度も様々な方々をご招待して開催します。これ

からも子どもたちと共に地域に根ざした学校づくりを目指していきます。（校長 遠藤美樹）

編集委員会 だより

この23号が皆さんのお手許に届く頃は、注目の参院選も終り、政界に新地図が画かれていることでしょう。

財政再建、景気回復、福祉対策、消費税等の問題を、国民の目線で真剣に取り組んでいくことを願っています。

本町議会は、6月に「町民と議員との懇談会」を下部、身延、中富の三地区で開催しました。町民の皆さんから貴重なご意見・ご要望が寄せられました。

編集委員一同、「読みやすく、分かりやすく、親しまれる広報誌」を目指して努力しています。本誌に対しましても、ご意見・ご感想をお寄せください。

（編集委員 望月 明）